

平成 30 年 8 月 30 日

## 木づかいテーマの今後の推進活動

矢作川流域における生活空間での木づかいを推進するため、従来その推進役であった「根羽村森林組合」から、同森林組合に事務局のある「NPO 矢作川源流の森ねば」に変更し次の展開を図ります。

- ① 矢作川流域圏懇談会における木づかい推進活動の一環として、矢作川流域内のどの自治体からも受注の受けやすい NPO を実施主体とすることで、各地域での木育活動を推進します
- ② 当面、NPO として根羽村森林組合木育担当職員・豊田森林組合木育担当職員・稲武町クラフトマン 3 名の「木のアイテム製作チーム」を結成し、ここで「動く木のおもちゃ」、根羽村森林組合オリジナル商品となる「どこでもシリーズ」、その他新商品を開発製作し、長野県・愛知県等各県の垣根を超えた木育活動を行います。
- ③ 今年度・来年度にかけて「動く木のおもちゃ」の全国キャラバンを開始します。(東京スカイツリー・愛知県安城市・鳥取県浜田市・大阪府の予定) 同時に、キャラバン実施県について「動く木のおもちゃ」や「どこでもシリーズ」の製作方法を伝え、その地元県の人材を使ったおもちゃによる木育活動を推進します。
- ④ 同時に、「矢作川流域ものさし」をベースとして、全国主要水源地において、流域ものさしの製作方法・治具を伝え、メッセージを添えた「私の流域ものさし」の交換を図りながら、山・川・海における一人ひとりの個人的な人の魅力と、様々な地域資源と結びつけた地域独自の熱い生き方や流域活動を発信します。
- ⑤ 「NPO 矢作川源流の森ねば」が率先して、地域の生活空間における木づかいアイデアを募集し、これらの試作を行うことで、流域内の木の材料を活かした「魅力的なプレイスメイキング＝場所の力づくり」を推進します。

参考) 「矢作川流域ものさし・私の流域物語」の理念とは、「流域はひとつ運命共同体」・「水を使うものは自ら水をつくるべし」といった全国にも通用する矢作川の流域思想であり、こうした思想と共にある矢作川流域圏懇談会の取り組みについて全国の流域関係者に向けて発信することである。